

米空軍グローバルホークの横田飛行場への一時展開について

一時展開の経緯

- グアムを拠点に運用されている米空軍グローバルホークは、2013年(平成25年)10月の日米「2+2」共同発表において、2014年(平成26年)年から日本においてローテーションによる展開を行う旨記述。その後の日米協議を踏まえ、夏季における台風等悪天候の影響を回避し、より安定的な運用を確保するため、2014年(平成26年)年から三沢飛行場へ一時展開を開始。
- 本年(2020年(令和2年))は、米軍の運用事情を踏まえ、2017年(平成29年)、2019年(令和元年)に続き、横田飛行場へ一時展開する。これについては、現下の安全保障環境を踏まえると、この地域におけるISR(情報収集、警戒監視、偵察)活動のニーズは引き続き高く、グローバル・ホークの効果的な運用を最大限確保する観点で検討した結果、本年は横田飛行場へ一時展開するもの。

グローバルホークの概要

- 情報収集、警戒監視、偵察を任務とする米空軍保有の高高度滞空型無人偵察機
その特徴は、以下のとおり
 - ・画像等の情報収集を実施
 - ・攻撃能力なし
 - ・高度5万フィート(約1万5千m)以上で航行
 - ・無線通信及び衛星通信により地上から操縦

RQ-4B(グローバルホーク)



| | |
|------|-------------------|
| 全幅 | 約40 ^{ft} |
| 全長 | 約15 ^{ft} |
| 全高 | 約5 ^{ft} |
| 滞空時間 | 約36時間 |
| 最大高度 | 約65,000ft |

横田飛行場における一時展開の概要

- 展開元 : アンダーセン空軍基地(グアム)
- 展開機数等 : グローバルホーク×6機、人員数約80名
- 展開期間 : 2020年(令和2年)5月30日頃～同年10月頃までを予定。
- その他 : 騒音規制措置は可能な限り遵守する。

| 展開実績 : | 展開年・場所 | 展開期間 |
|--------|----------------|----------------------|
| | 平成26年(2014年)三沢 | 平成26年5月下旬～平成26年10月上旬 |
| | 平成27年(2015年)三沢 | 平成27年7月上旬～平成27年12月上旬 |
| | 平成29年(2017年)横田 | 平成29年5月上旬～平成29年10月下旬 |
| | 平成30年(2018年)三沢 | 平成30年6月上旬～平成30年10月上旬 |
| | 令和元年(2019年)横田 | 令和元年8月上旬～令和元年10月中旬 |